

一、参議院選挙の総括と教訓について

・選挙戦の日本共産党の結果について

・どういう情勢のもとでの選挙だったか、わが党はどう政治的に対応したか

さらに強まった野党共闘と日本共産党への攻撃に正面から立ち向かう

ウクライナ侵略を契機とした大逆流に正面から立ち向かう

「二重の大逆流」を全党の大奮闘によって押し返す過程での一断面

・中央の指導的イニシアチブの弱点——「折り入って作戦」について

参議院選挙の活動の到達点と、中央のイニシアチブの問題

「折り入って作戦」の決定的意義を全党のみなさんに伝えていく活動に弱さが

この運動のもつ大きな可能性をイメージ豊かに伝えていく取り組みの弱さ

・質量ともに強い党をつくる——「党大会第二決議」にたちかえり、全党が実践を

「第二決議」にそった活動方向に党建設前進の展望を見出している報告が

中央のとりくみに弱さがあった——実践・具体化の先頭に立つ決意

青年・学生の大奮闘、選挙ボランティアの広がり——党づくりの大きな可能性を示す

世代的継承の前進へ——系統的なイニシアチブ発揮を教訓としたい

・東京、沖縄、高知——全党の行く手を照らす素晴らしい教訓を学ぶ

東京選挙区の勝利——「3つの確信」、「都議選3連勝」がつくった政治の流れ

沖縄選挙区の勝利——「辺野古新基地押し付け」の「正面突破」を跳ね返した

高知の大健闘と躍進——共闘に誠実にとりくんできた政治姿勢が評価された

二、内外情勢と日本共産党の任務について

・岸田政権に正面から対決し、平和・暮らし・民主主義で希望ある日本を

内外情勢に立ち向かう基本的観点——攻めに攻めて、政治を変える国民の流れを

新型コロナ「第7波」から命を守るとりくみ

「戦争させない、9条変えるな」——この一点でゆるがない国民的多数派を

物価高騰から暮らしを守る——公約実現のたたかいをすすめよう

気候危機打開、原発再稼働に反対するたたかい——地域からの運動を重視して

ジェンダー平等——賃金格差是正、反動的逆流とのたたかいの重要性

日本の民主主義にかかわる2つの重大問題——「国葬」、「統一協会」について

・市民と野党の共闘について——国民的なたたかいを前進させ、共闘の再構築を

参議院選挙における野党の選挙協力について

共闘破壊の妨害に対して野党がどういう姿勢をとるか——3つの点を提起する

野党共闘を再構築する力は、緊急の一致点での国民的運動の発展にこそある

・世界の主流に立って——ウクライナ侵略と核兵器禁止条約

「軍事対軍事」の対抗か、包摂的な平和の枠組みの構築か

「核兵器のない世界」を目指して——核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議

三、「党創立100周年記念、統一地方選挙勝利・党勢拡大特別期間」を呼びかけます

・2023年統一地方選挙の意義と目標

・第29回党大会開催の時期についての提案

・「党創立100周年記念、統一地方選挙勝利・党勢拡大特別期間」に挑戦しよう

・「特別期間」をどうやって成功させるか——4つの留意点を握って奮闘しよう

党勢拡大、選挙活動、要求運動——三つの目標を一体にとりくみ、豊かな成果を

参議院選挙の教訓を、すべて統一地方選挙に生かし、さらに発展させよう

支部活動の中心に綱領学習を太く位置づけよう

中央の姿勢——一番苦労している問題、困っている問題を、ともに解決していく

・沖縄県知事選挙、沖縄統一地方選、中間選挙での勝利を

四、創立100年——「なぜ1世紀にわたって生命力を保ち続けたか」